

認知症を考える講演会  
認知症の人と家族を地域で支える



70人の参加者が認知症について正しい知識を学びました

12月3日、津別町林業研修会館で「認知症を考える講演会」(津別町地域包括支援センター主催)が開催されました。

講師の北海道医療大学・看護福祉部教授の井出訓さんが「認知症の人と家族を地域で支えよう」をテーマに、記憶障害や見当識障害、理解・判断力の低下など認知症の人に見られる症状や自尊心を傷つけない、事実だけで説得しないなど認知症の人と接する対応について話されました。

高齢化率が高い津別町では、認知症に対する関心が高く、多くの町民の参加があり、認知症になっても安心して暮らせる町づくりの大切さについて考える機会となりました。

119番受信から出動まで  
通信指令業務を共同運用に



12月14日、美幌町と津別町で構成する美幌・津別広域事務組合が、国の経済危機緊急対策交付金を活用した高性能消防通信指令システムの導入に伴い、美幌消防署で両町の関係者が出席し、消防緊急通信指令装置運用開始式が行われ、12月15日から本格運用を始めました。

最新の情報技術を駆使した通信指令システムで、119番受信から出動までの一連の業務が自動システム化され、一刻も早い現場到着が可能になりました。  
より迅速・確実に住民の安心・安全を守ります。

若者の声を直接町長に！  
津別町の青年団体と町長が交流



2時間程度行われた町長と青年層の意見交流会

12月15日、でこいランドで町内に在住・就農している20代から30代を主とした青年グループら22人と町長による意見交流会が開催されました。町長と青年らによる交流は初めて行われ、町内にいる若者同士が結束し、異業種同士の交流の中で互いに理解を深め、津別の発展に繋げていこうという目的から開催されました。

交流会の中では、現在休業中のフォレストアについて、公営住宅や空き家の利用などに関する住宅施策について、町で進めている各種事業について質問や要望に町長がこたえるなど、今後のまちづくりの構想について語り合いました。

手打ちそば実技講習会開催  
津別産のそば粉で手作りそばに挑戦



12月13日、「手打ちそば実技講習会」が中央公民館で行われました。毎年1回12月に津別町手打ちそば同好会(山内清一代表)が主催し続け、今年で13回目になります。この日は同好会の会員と一般参加合わせて25人がそば8、つなぎ(小麦粉)2の割合で作る「二八チそば」に挑戦。

参加者は「指を立てて粉をかき混ぜること」や「猫の手のように押し棒を持って生地を伸ばすこと」などの作業のポイントを説明する会員の手つきを真剣な眼差しで見つめていました。昨年も参加した女性は「前回も作業が難しく見ているだけだった。今回もあまりできなかったけれど頑張ります」と話します。そばを打ち終わった後は、全員でそばを味わいました。

11月25日、佛願寺ビハラーホールで『お寺でライブ』木管五重奏&ピアノコンサート』が行われました。これは同寺の報恩講に合わせ企画し、今回で6回目の開催となりました。例年多くの町民らが参加しこの日も約150人の町民らがフルートやオーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルンの木管楽器の音色に聴き入りました。F・ダンツィー作曲の「変口長調」の木管五重奏から始まり、「風笛」となりのトトロ、「浜辺の歌」など約1時間にわたり演奏を披露しました。



佛願寺で木管演奏  
ホールに響く音色にうっとり

アフリカ・タンザニアから  
津別の酪農、林業を研修に



12月7日、町長室に、椿延子さんと夫と、長男の一家3人の来庁がありました。

椿延子さんは、元タンザニア政府の生活指導員や農業省農業訓練所教員をされていましたが退職し、現在は、有機農業や安全な化粧品、石鹸などの普及に活動されています。長男の「大(ンダキ)」さんは、東岡の(尙)セイランドファーム(清野昭雄代表)で、現在酪農を研修中です。

夫の「ンズルンゲ」さんは、加賀谷木材(株)の工場を視察し、日本の林業について研修され、12月12日、タンザニアに帰国されました。

地上デジタル放送開始  
ハイビジョンの高画質・高音質を楽しもう！

地上デジタルテレビで楽しもう

高台にあるテレビ中継局がデジタル放送対応に整備され、11月20日から試験放送が行われ、12月14日から正式に運用が開始されました。

地上デジタル放送は、テレビをきれいに見ることができただけでなく、いつでもニュースや天気予報など情報を見ることができ、電話回線を接続することでクイズやアンケートなどの双方向のサービスが可能となります。また、今までと違い、画面上の番組表により、録画予約も簡単にこなすことができます。

区域外は光ファイバーで

津別町は複雑な地形のため、難視地区が多くあります。これらの地域については、光ファイバー整備でデジタル放送が視聴できるよう計画を進めています。

なお、現在のアナログ放送は、平成23年7月24日で終了します。それまでに地上デジタル放送に対応したテレビを設置するか、アナログテレビの場合はチューナーが必要となります。すでにデジタルテレビで視聴し、映りの悪い方は役場総務課管財グループまでご連絡ください。

また、地デジに関するお問い合わせについてもご連絡ください。

☎ 76-2151 内線210

